

(自由記述意見)

山崎たよ氏 (日本共産党) 奈良第4区

「医療・介護総合法」にもとづき、来年度からの介護保険の仕組みの改悪に向けた動きを加速しています。国民の願う「安心の介護」に完全に逆行し、要支援1・同2の利用者の訪問・通所サービスを保険給付対象外し、一定の所得以上の人の利用料負担の1割から2割への引き上げなど、介護保険の土台を破壊させかねない異常な提案です。

介護労働の実態も深刻です。低賃金と「仕事がきつい」ことから離職率が16.6%と高く、介護事業所の56%が「人手不足」を訴えています(介護労働安定センター)。安心して豊かな老後を支えることが求められる介護職場の環境が劣悪でいいはずがありません。

取り返しがつかない被害を引き起こしかねない削減案はきっぱり撤回し、必要な介護人材を確保し、賃上げなど雇用条件を改善すべきです。

「命を守り育てる」このことを胸に刻んで女性運動を続けてきた私は、消費増税に頼らないで社会保障の再生・充実へ転換させ、日本の経済を立て直すことを提案します。富裕層や大企業に応分の負担を求める税制改革で財源をつくります。大企業の内部留保285兆円の一部を活用して大幅賃上げと安定した雇用を増やして増収を増やします。こうして約兆円の財源が生み出され社会保障と財政再建をすすめることができます。